



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 パルステック工業株式会社

コード番号 6894

URL <https://www.pulstec.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 青野 嘉幸

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長

（氏名） 工藤 孝史

（TEL）053-522-5176

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	971	△2.2	55	△19.7	53	△39.6	25	△66.7
2024年3月期中間期	993	△15.7	69	△25.9	88	△26.4	76	△7.2

（注）包括利益 2025年3月期中間期 8百万円（△91.2%） 2024年3月期中間期 93百万円（△0.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	18.55	—
2024年3月期中間期	55.77	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	4,439	3,532	79.6
2024年3月期	5,182	3,674	70.9

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 3,532百万円 2024年3月期 3,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 110.00	円 銭 110.00
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 60.00
2025年3月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 80円00銭 記念配当 30円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350	△10.0	300	△16.3	312	△19.1	225	△31.1	164.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	1,393,459株	2024年3月期	1,393,459株
2025年3月期中間期	25,283株	2024年3月期	25,201株
2025年3月期中間期	1,368,212株	2024年3月期中間期	1,368,295株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加などにより回復傾向となりましたが、地政学リスクの高まりや原材料やエネルギー価格の高騰などの影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、設備投資意欲は引き続き旺盛ですが、人員確保や賃上げなどの人的投資を優先させる企業も多く、依然として厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、X線残留応力測定装置の新製品の投入、国内外の展示会や学会等への出展、ホームページやSNSによる情報発信の継続など、新規顧客の獲得や既存顧客への深耕営業に注力いたしました。また、主要顧客との連携強化を図るため、既設クリーンルームの全面改修工事を行っており、概ね計画どおりに進行しております。

以上の結果、売上高は9億71百万円(前中間連結会計期間比2.2%減)、営業利益は55百万円(前中間連結会計期間比19.7%減)、経常利益は53百万円(前中間連結会計期間比39.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は25百万円(前中間連結会計期間比66.7%減)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(X線残留応力測定装置関連)

既存製品の販売に注力するとともに、新製品につきましても国内外の展示会や学会等に積極的に出展し高評価を得て引合いが発生しているものの販売まで至らず、売上高は2億43百万円(前中間連結会計期間比23.1%減)、セグメント利益は69百万円(前中間連結会計期間比36.7%減)となりました。

(ヘルスケア装置関連)

一部の受託開発の進捗遅れにより、関連製品の開発計画が先送りされたものの、その他の受託開発及び受託生産は概ね順調に推移したことから、売上高は3億74百万円(前中間連結会計期間比13.0%増)、セグメント利益は37百万円(前中間連結会計期間比319.8%増)となりました。

(光応用・特殊機器装置関連)

顧客指示により現地作業が先送りとなる案件もありましたが、主要顧客からの引合いは引き続き好調を維持していることから、売上高は3億53百万円(前中間連結会計期間比2.4%増)、セグメント利益は1億円(前中間連結会計期間比2.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて7億43百万円減少し、44億39百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1億30百万円増加し、現金及び預金が5億5百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3億49百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて6億1百万円減少し、9億6百万円となりました。これは主に、電子記録債務が2億57百万円、未払法人税等が1億15百万円、賞与引当金が87百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億42百万円減少し、35億32百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億25百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて5億70百万円減少し、16億96百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は、1億57百万円(前中間連結会計期間は1億74百万円の獲得)となりました。主な増加要因は、売上債権の減少3億50百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少3億26百万円、法人税等の支払額1億12百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、2億46百万円(前中間連結会計期間は40百万円の獲得)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1億75百万円、定期預金の預入による支出70百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、1億53百万円(前中間連結会計期間は1億39百万円の使用)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額1億48百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想のとおりであり変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,267,271	1,761,912
受取手形、売掛金及び契約資産	974,333	624,481
仕掛品	447,164	524,443
原材料及び貯蔵品	451,492	405,108
その他	40,453	15,796
流動資産合計	4,180,715	3,331,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	223,993	410,641
その他(純額)	391,523	335,841
有形固定資産合計	615,516	746,483
無形固定資産	5,564	2,031
投資その他の資産	380,945	358,960
固定資産合計	1,002,026	1,107,474
資産合計	5,182,742	4,439,217
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	80,366	28,020
電子記録債務	422,233	164,951
1年内返済予定の長期借入金	10,320	7,820
未払法人税等	126,640	11,537
賞与引当金	141,766	54,707
その他	263,338	191,888
流動負債合計	1,044,665	458,924
固定負債		
長期借入金	3,740	1,080
退職給付に係る負債	459,521	446,811
固定負債合計	463,261	447,891
負債合計	1,507,926	906,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	1,367,716	1,242,586
自己株式	△166,397	△166,541
株主資本合計	3,622,490	3,497,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,169	18,646
為替換算調整勘定	22,155	16,538
その他の包括利益累計額合計	52,325	35,185
純資産合計	3,674,815	3,532,401
負債純資産合計	5,182,742	4,439,217

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	993,420	971,509
売上原価	604,422	623,496
売上総利益	388,998	348,012
販売費及び一般管理費	319,723	292,393
営業利益	69,275	55,618
営業外収益		
受取利息	1,299	2,878
受取配当金	1,544	1,583
為替差益	9,453	-
売電収入	7,005	6,517
その他	3,061	1,858
営業外収益合計	22,363	12,837
営業外費用		
支払利息	133	70
為替差損	-	12,319
売電費用	3,130	2,724
営業外費用合計	3,263	15,115
経常利益	88,375	53,340
特別利益		
保険解約返戻金	24,026	-
特別利益合計	24,026	-
特別損失		
固定資産除却損	0	14,027
特別損失合計	0	14,027
税金等調整前中間純利益	112,401	39,313
法人税等	36,096	13,934
中間純利益	76,304	25,378
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	76,304	25,378

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	76,304	25,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,330	△11,523
為替換算調整勘定	7,774	△5,616
その他の包括利益合計	17,104	△17,140
中間包括利益	93,409	8,238
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	93,409	8,238
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	112,401	39,313
減価償却費	30,480	29,316
受取利息及び受取配当金	△2,843	△4,461
支払利息	133	70
為替差損益(△は益)	△10,656	10,915
保険解約損益(△は益)	△24,026	-
有形固定資産除却損	0	14,027
売上債権の増減額(△は増加)	253,904	350,582
棚卸資産の増減額(△は増加)	△195,904	△30,978
仕入債務の増減額(△は減少)	92,462	△326,716
賞与引当金の増減額(△は減少)	△64,013	△87,039
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,268	△12,710
その他	△23,007	△30,773
小計	165,660	△48,453
利息及び配当金の受取額	2,763	3,886
利息の支払額	△129	△66
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	5,743	△112,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	174,038	△157,238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△70,118
有形固定資産の取得による支出	△36,369	△175,703
無形固定資産の取得による支出	-	△1,270
保険積立金の解約による収入	77,416	-
その他	△978	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,068	△246,972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△45,160	△5,160
自己株式の取得による支出	△110	△144
配当金の支払額	△94,354	△148,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,625	△153,665
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,707	△12,992
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84,189	△570,869
現金及び現金同等物の期首残高	1,911,128	2,267,271
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,995,317	1,696,402

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	316,243	326,243	262,031	904,518
一定の期間にわたり移転されるサービス	533	5,522	82,845	88,901
顧客との契約から生じる収益	316,777	331,765	344,877	993,420
外部顧客への売上高	316,777	331,765	344,877	993,420
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	316,777	331,765	344,877	993,420
セグメント利益	109,853	8,823	102,859	221,536

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	221,536
全社費用(注)	△152,330
棚卸資産の調整額	70
中間連結損益計算書の営業利益	69,275

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	241,795	369,369	221,477	832,642
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,779	5,400	131,686	138,866
顧客との契約から生じる収益	243,574	374,769	353,164	971,509
外部顧客への売上高	243,574	374,769	353,164	971,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	243,574	374,769	353,164	971,509
セグメント利益	69,515	37,038	100,322	206,876

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	206,876
全社費用(注)	△150,927
棚卸資産の調整額	△330
中間連結損益計算書の営業利益	55,618

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	224,165	51.1
ヘルスケア装置関連	398,813	104.9
光応用・特殊機器装置関連	465,862	104.7
合計	1,088,840	86.1

(2) 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	488,634	110.7	322,980	95.1
ヘルスケア装置関連	229,412	62.2	1,067,312	76.3
光応用・特殊機器装置関連	480,495	115.7	670,020	129.0
合計	1,198,541	97.8	2,060,312	91.3

(3) 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	243,574	76.9
ヘルスケア装置関連	374,769	113.0
光応用・特殊機器装置関連	353,164	102.4
合計	971,509	97.8

(注) 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立ハイテク	201,557	20.3	204,433	21.0
東海電子株式会社	206,162	20.8	131,112	13.5
栄研化学株式会社	—	—	97,158	10.0
ミナリスメディカル株式会社	101,242	10.2	—	—